

日本女子大学人間社会学部教育学科・教育学科の会共催
ホームカミングデイ 講演会
落語の世界を Watching
—カナダ人落語家から学ぶ日本文化の魅力—

Japan Women's University Symposium:
Let's enjoy 'Rakugo' in Japanese and English by Katsura Fukuryu
19th October 2019

齋藤慶子、桂福龍
Keiko Saito, Katsura Fukuryu

執筆協力者（「プロジェクト実践演習Ⅱ」受講生）

有川香音、井形桃子、岩永和子、薄田紗矢香、岡本杏、表詩歩、柏木佳苗、川島楓花、高山紗季、鳥山未羽、野村日菜子、廣瀬真子、安達璃奈、石井萌恵、奥平明日香、川口美南海、志摩めぐみ、庄夏澄、鈴木まりあ、田中碧、田邊莉世、中村真裕子、二階堂真由、藤田真己、松浦沙恵、道宗麻里、横田愛実、横見知春、渡邊亜美

I. はじめに

2019年10月19日（土）13:00-14:30、日本女子大学西生田キャンパス九十年館A棟第1会議室において、日本女子大学人間社会学部教育学科・教育学科の会共催による講演会（日女祭同日企画・ホームカミングデイ）「落語の世界を Watching—カナダ人落語家から学ぶ日本文化の魅力—」を開催した。講師は、カナダ人落語家の桂福龍氏であった。

本講演会は、教育学科専門科目「プロジェクト実践演習Ⅱ」（授業担当教員：齋藤慶子）の受講生により企画・準備・運営がおこなわれた。当日は、教育学科及び他学科の学生や卒業生、地域住民の方々を中心に、約50名もの参加者があり盛会なものとなった。以下に講演会の記録（要約）を示す。紙面構成の都合上、内容や順番を編集している。また、本報告書の表記において、講演記録（Ⅲ章）は口語としているが、それ以外の各章は、文語・常体に統一している。なお、Ⅲ章の英語落語のなかで日本語を用いている部分については、当日の臨場感を表現することを優先し、固有名詞以外はそのまま日本語



写真1：当日の様子

表記とした。

Ⅱ. 「プロジェクト実践演習Ⅱ」の取り組み

本講演会は、「プロジェクト実践演習Ⅱ」の受講



写真 2：桂福龍氏

生らによって企画されたものである。

まず、本年度の「プロジェクト実践演習Ⅱ」の取り組みを報告する。4年目を迎える2019年度の本科目の受講生は29名であった。本年度の大きな変更点として、担当教員数と開講期間が挙げられる。2016～2018年度は教員2名体制で担当していたが、本年度からは1名での担当となった。また、過去3年間は前期開講の半期（2単位）科目として開講していたが、今年度から通年開講（4単位）科目となった。これは、授業開講期が前期であるにもかかわらず、講演会が後期開講期間中の10月であることに加え、昨年度までの授業でも講演会後に実践報告に関わる講演記録の文字化及び振り返りを行い、通年授業と同じ活動期間と内容であったことに鑑みて、実質に合わせた変更である。

本科目は、学生たちが、講演会やシンポジウムを企画・立案し、運営に携わる中で、本学の建学の精神である「自学・自動」的な学びの体得を目指すものである⁽¹⁾。今年度も、これまで同様、「自学・自動的な姿勢で取り組む」といった態度面だけでなく、「①企画内容を立案・検討する（考えを設計・企画する力、コミュニケーション能力の獲得）」、「②企画・運営した内容についてプレゼンテーションを行う（プレゼンテーション能力の獲得）」、「③役割分担を行い、講演依頼、広報、当日の運営を学生主体で実施する（企画を実行・運営する力、チーム活動能力の獲得）」の能力を育てることを目標と

した⁽²⁾。これらの能力は、教員志望学生だけでなく社会人の基礎として求められるものとする。

実際の「プロジェクト実践演習Ⅱ」は、以下の6つのパートでおこなった。

1. パート1～パート5までの取り組み

パート1は、オリエンテーションとして、演習の目標と趣旨説明、グループ分けをおこなった。また、本授業が反復履修可能科目であるため、昨年度に引き続き今年度も履修している学生の協力を得て、昨年（2018）度の成果共有の機会を持った。

パート2は、講演会ゲストの検討をした。ゲストは、各グループで企画を作成し、クラス全体に対してプレゼンテーションをし、投票の結果で決定した。学生たちからは、「サンリオ・ピューロランドの社長、『an・an』の編集長、体操のお兄さん、男女平等に関する団体の代表、桂福龍氏」といった具体的なゲスト案が出されることになった。当初、桂福龍氏を希望する学生の多くは、「落語」という日本の伝統文化に精通した外国人という稀有な存在に興味関心を抱いていたが、事前学習をし講演会の内容構成を検討するなかで、日本の伝統文化そのものへの魅力と、桂福龍氏の出身国である多文化国家のカナダへの関心も寄せられ、多数の受講生が賛同しゲストとして招聘することになった。

パート3では、講演会に関する事前学習を行った。具体的には、6つの課題を提示し、各グループがそれぞれ調べ学習を行った。課題は、「①落語とはどのような文化か ②外国人落語家について（いつから、どれぐらいの人数など） ③外国人から見た日本文化について、各グループごとに視点を定め



写真 3：新宿 末廣亭にて



写真4：手ぬぐいの写真

て検討 ④落語以外の日本文化について ⑤桂福龍氏の母国である多文化国家カナダについて ⑥教育学科の講演会として外国人落語家を招聘する意義」である。とくに③と④の課題については、「視点」を定めた調べ学習の意味と方法を教員側から指導したうえで取り組んだ。コンピュータ演習室を利用し、情報収集をし、レジュメやパワーポイント等の形式で発表をさせた。クラス全体で共通理解を図り、全ての学生が演習に参加していく土台形成をねらった。なお、パート3の事前学習の内容をパンフレットとしてまとめ、講演会当日、参加者に配布した。また、事前学習の一環として、寄席体験企画を実施し、土曜日の授業終了後、新宿の末廣亭に、有志の学生7名と教員とで赴いた。

パート4は、桂福龍氏を招聘するにあたって、具体的に聞きたい事項や講演会のタイトルの検討をおこなった。

パート5は、「交渉・統括」「広報（ポスター・チラシ作成／SNS担当）」「グッズ制作」「運営・企画」「パンフレット・アンケート作成」のチームを編成し、それぞれ作業を進めていった。

交渉・統括は、桂福龍氏や教員（齋藤）との連絡や各チームの作業指示等の役目を担った。クラス全体で協議をする場面では、司会として中心的な働きをした。

広報は、チラシやポスターの作成等をおこない、チラシを配布する各機関への連絡など広範な機関への広報活動をおこなった。また、教育学科公式SNS（Twitter／Instagram）での広報のため、記事の作成をおこなった。

「グッズ制作」は、オリジナルグッズの作成について学生から提案があり、「落語に関わるグッズにしよう」といった方針の下、定番のファイルやエコバックではないものとして、オリジナルの手ぬぐいの制作を決定し、デザインから業者の選定まで学生

が主体となってすすめられた。費用は、「教育学科の会」より支援を受けた。

運営・企画は、当日のプログラム作りや司会進行等の役目を担った。これら5つのチームと教員が連携を取る形で企画がおこなわれた。

「パンフレット・アンケート作成」では、当日のプログラムと事前学習の成果を掲載したパンフレットと、IV章の来場者アンケートの作成と分析をおこなった。

また、演習の中で「予算の立て方」や「メールの出し方」といった基本的なスキルについても教員が指導をおこなった。

2. パート6の取り組み（事後活動）

本年度より、半期科目から通年科目へと変更することになり、講演会終了後も授業期間内の活動として、講演会の振り返り、本報告書の作成、授業全体の振り返りをおこなった。昨年度までの授業でも、報告書作成、講演会及び授業の振り返りはおこなっていたが、報告書の内容校正是担当教員が担っていた。今回からは、とくに、本報告書Ⅲ章「講演会要旨」について、担当学生が日本語部分と英文部分に分かれて文字起こしをおこなった。そのうえで、①講演会はどういう構成で実施されたのか、②講演内容を分かりやすい構成にするためには、どのようなトピックを付けて編集すればよいか、③講演者及び当日の会場の雰囲気損なうことなく読み手が分かりやすい文章表現を心がけた校正上の工夫といった3つの点に留意して、グループごとに校正作業をおこなった。また、講演会終了後と校正終了後の2回に分けて、記述式の受講者アンケートをおこなった。

Ⅲ. 講演会の要旨

1. 開会挨拶

[司会] この講演会は、プロジェクト実践演習Ⅱという教育学科の専門科目を履修した29名により、企画・立案から本日の運営までおこなっております。開会に先立ちまして、お手元の資料のご確認をお願いいたします。お手元の資料のうちパンフレットは、今回の講演をおこなうにあたって、授業で学習した内容をもとに作成しております。また、手ぬぐいは、学生が一からデザインしたもので、こちら

の文字も、学生が手書きで書いたものとなっております。

それでははじめに、教育学科長の藤田先生よりご挨拶がございます。よろしく申し上げます。

2. 学科長(藤田武志先生)挨拶

教育学科長の藤田と申します。みなさんようこそいらっしゃいました。本学科の学生が企画した、この会に来てくださって大変喜んでおります。

今日は、カナダ出身の落語家の方に、私たちの文化であるはずの落語を、むしろ海外の方から学ぶということで新しい視点を得られるのではないかと。先ほどお話をしていたら、実は私たちそれほど落語のことを、そもそも知っているわけじゃないと気がつかされまして、ここで改めてそういったことを学ばなければなと思っております。今日のこの会が、ここに集ったみなさんの新しい学びの機会となることを願っております。では、どうぞ楽しんでいってくださいねと思います。どうぞよろしく申し上げます。

3. 講師紹介

[司会] 本日、お話ししていただく桂福龍さんについて簡単ではありますが、私よりご経歴を紹介させていただきます。桂福龍さんは、1978年カナダのウィニペグでお生まれになりました。日本文化に興味を持たれ、大学卒業後、2001年に来日されました。落語に興味を持ち始めた2013年ごろ、英語落語と出会い、そのわずか数ヶ月後には、寄席で英語落語を披露されました。その後、日本語での落語も挑戦したいと考えられ、2016年10月に桂福団治一門に入門し、正式に11番目の弟子となって、桂福龍の名前を襲名されました。現在も手話落語を含め着々とネタをふやし、活動を広げていらっしゃいます。それでは、桂福龍さん、よろしく申し上げます。

4. 一席目(第1部)

(1) 自己紹介

[福龍氏] みなさん、こんにちは。

[観客] こんにちは。

[福龍氏] 元気ですね、よかったです。聞こえますか? よかった、よかった。じゃあ、みなさんこんに

ちは。

[観客] こんにちは。

[福龍氏] よかった、よかった。みんな元気ですね。僕の顔、日本人ばいと思うんだけど、日本人ではないですよ。鼻が一番日本人ばいですね。僕は、桂福団治の11番目の弟子、桂福龍と申します。どうぞよろしく申し上げます。日本人ばいと思ったけど、僕はカナダ出身ですね。カナダ行ったことありますか、誰か? 行ったことある? どこ行ったんですか?

[観客] バンクーバー!

[福龍氏] バンクーバー! バンクーバー、家近いですよ。バンクーバーから僕の実家まで、車で3日間くらい(一同、笑い)。僕の実家は北アメリカの方、ウィニペグというところですね。ウィニペグ行ったことありますか? ウィニペグで有名なことは、あのね、大学生か……。ぎりぎりかもしれないんだけど、ビール好きですか? 日本のビールの麦は90%、ウィニペグから来はってるんですよ。どういたしまして。パンの小麦粉もそうです。90%は、ウィニペグから来はったんですね。

あと、もう一つの有名なこと。みんな、ディズニー好きですか? なんで「東京ディズニー」なんやね? 「千葉」やけどね、「東京」ではないですね。実は、ディズニーの有名なキャラクターもウィニペグから来はったんですね。ミッキーではないです。知ってるかな? 知らないですか? 大ヒント。黄色い色のクマです。プーさん、そうそうそう。プーさんの英語の名前は 'Winnie The Pooh'。'Winnie' は、ウィニペグからの 'Winnie' です。ウィニペグでは、本当に子グマを撃ったんですよ。でも、その子グマは黄色い色ではなくて、'black bear'。だから全然違う熊だったんだよ。

ウィニペグで、それ以外に有名なことはね、東京は冬は何度くらいですか? マイナスくらいには、ぎりぎりなりますかね。ウィニペグはね、普通はマイナス30度くらいなんですよ。北海道より寒い。去年、マイナス55度くらいまでになったんですよ。僕は日本におったんですけど。

(2) 落語の小道具

[福龍氏] 僕、東京じゃなくて大阪に住んでますね。大阪行ったことありますか? (一同、頷く) みんな! よかった。また来てくださいね。大阪からの落



写真5：手ぬぐいと扇子で手紙を書くジェスチャーをする福龍氏

語家。落語のことは、みんなあんまり詳しくないですか？みんな知らない？日本語の落語でも知らないですか？じゃ、説明しますね。落語は、すごいシンプルですね。CGとかもない。だから、頭に映画をつくる仕事ですね。うまい落語だったら、ちゃんと「映画」を観られるんです。

【福龍氏】落語では小道具はあまり持ってないけど、これは日本語で何かわかるかな？

【観客】扇子

【福龍氏】扇子。みんな、日本語うまい！日本語で「扇子」、英語で言ったら・・・？ちょっと英語のレッスンも入れようと思ってるから。英語で言ったら 'folding fan'。folding するからね、'folding fan'。日本語で「扇子」、英語で 'folding fan'。今日は、落語の「センス」がいいね（一同、笑い）。

【福龍氏】これは日本語で？

【観客】手ぬぐい。

【福龍氏】手ぬぐい、英語で 'hand towel'。すごい簡単でしょ、英語簡単よ。この手ぬぐいすごいね。わかるかな？英語で 'JAPAN'、'CANADA'。カナダといたら僕の家はここ、アメリカの近く。だから北アメリカ大陸のど真ん中って感じですよ。手ぬぐいはね、いろいろな使い方あるんですよ。手ぬぐいのままの使い方もあるんだけど、それだけではなくて、いろいろな使い方がありますね。例えば、手ぬぐいは、少々お待ちくださいね・・・手ぬぐいと扇

子を持って・・・イメージしてくださいね、ちょっとよう考えて。「おはようございます。はい、まだ日本におります。カナダに帰らないと思います。じゃあね。」これ、どんな感じですか？

【観客】手紙。

【福龍氏】そう、手紙を書く。よう分かったな。じゃあ、大丈夫やな。これ分かったら大丈夫や。あとは、手紙とペン。'This is a pen.' じゃなくて。あのね、英語の授業のとき、昔はよう 'This is a pen.' を使ったんじゃないですか？ 'This is a pen.' いつ使うんですか？誰かに「すみません。'This is a pen.' って使わない。

次はね、（執筆者註：見台を指しながら）これはペンですか？ 'Is this a pen? This is a table.' テーブルだけど、これはね。上方落語だけ、これは上方落語で使うものです。これは「見台」。「見台」と「小拍子」。「小拍子」をうまく使って音楽を消したり、場面や雰囲気をかえるときに大事なものです。あとこれは、「膝隠し」。膝を隠すから、わかりやすいね、'hiding the legs'。これは、羽織ね。わかりやすい。これ、日本語で着物、英語で *kimono*。

(3) 古典落語で使う日本語はいつの時代の言葉？

【福龍氏】本当、英語は覚えやすいよ、そんな難しいくない。みんな英語わかりますか？

“Can you speak English?”

“A little.”

“Why Japanese people?” そう・・・

“Japanese people don't say. I'm sorry. I can't speak English.”

これ全部英語だけどね。“Don't worry. You can speaking English.”

今日は、日本語の落語と、日本語と英語の落語をちょっとしようと思ってるんですけど、混ぜてるからあんまり気にしないでくださいね。雰囲気もあるから、100%分かんなくても大丈夫です。例えば、古典落語聞いたら古い言葉じゃないですか。古い言葉だから、その言葉を100%わかっていますか？あまりわからないですよ。だから、本当のオリジナルの言葉、江戸時代の言葉を使ったら日本人も多分わからない。今の古典落語は江戸時代の言葉ではなくて、だいたい2つ前の時代の言葉、だいたい大正時代の言葉を使います。

僕ね、師匠に「こないだ令和になりました。令和になってから僕は、これからは昭和時代の言葉を使わないとダメですか？」と質問したら、師匠が「いやいや、それ大丈夫です。」と言ったのね。実は、すごい緊張していました。今までずっと大正時代の言葉で落語を覚えて、これから昭和時代の言葉で落語を覚えないとダメなのかと・・・思っていたからね。

(4) 日本語と英語

[福龍氏] それから、座り方。落語の座り方もあるね。まあ、みんな知っていると思うけど、日本語で？

[観客] 正座。

[福龍氏] 正座、はい。英語で・・・？

[観客] (一同、沈黙のあと、徐々に笑い)

[福龍氏] そうなの。落語の大事なところはね、もし意味分からなかったら、隣が笑ったら一緒に笑う。それが大事なところ！もし誰も笑わなかったら、時々笑ってください。なぜなら、隣の人はあなたが笑うことを待っているからね。これ大事なこと。

言語は難しいかもしれないけど気にしないほうがいいよ。僕もよう間違えがあるんですよ。頭、ぐちゃぐちゃになりますから。本当は英語、生まれた家は英語を話すけど、幼稚園から高校3年生まではフランス語の学校に通いました。家に帰ったら英語、学校での英語の授業だけは英語、あとはフランス語。

日本語を覚えたんだけど、大阪の方で覚えたから大阪弁ですね。僕、日本来てから、学校で勉強したのではなくて、居酒屋でのアルバイトで勉強しました。居酒屋でみんなと話をするからね。19年前ですよ。尼崎、知ってるかな？尼崎は大阪と神戸の間かな、大阪や神戸には外国人おっただけど、尼崎の方にはあんまりいなかったんですね。だからお客さんに、「おう、外国人。お名前は？どこから来たの？何歳ですか？」って聞かれるんですね。これ、覚えやすい日本語ですね。次のお客さん入ったら、また、「おう、外国人。お名前は？どこから来た？何歳ですか？」って。でも、その次のお客さん、「お、外国人。お名前は？どこから来た？いくつですか？」「え、いくつ？この靴安かったよ」、聞き間違いも多かったんですね。そう、「いくつ」と「良

い靴」ですね。本当間違えが多かったんですよ。

たとえば、今の総理大臣は、安倍総理ね。アメリカはトランプ大統領ね。今、安倍総理だけど、安倍総理、麻生総理、鳩山総理、小泉総理、菅総理、ピーソリー、あ、ピーソリーはないか。ソーソリー。森総理は知ってますか？今度、オリンピックの会長になりますね。昔、森総理のときは、アメリカの大統領はビル・クリントン大統領。そうヒラリー・クリントンの旦那さん。森総理は英語が話せなかった。日本語しか話せなかった。森総理、沖縄サミット行くときに、海外からお客いっぱい来るから、簡単な挨拶は英語でやったらカッコいいなと思って、アドバイスが欲しかったんです。

<小噺一>

森総理：すみません、今度沖縄サミット行くとき、簡単な英語の挨拶覚えたいから、ちょっと教えてくださいませんか？ちょっと、簡単のいいですよ。本当、簡単のいいですから。

アドバイザー：わかりました。では森総理さん、とりあえず、ビル・クリントン大統領に会うじゃないですか。クリントンさんと会うときは、森さんから“How are you?”って言ってください。“How are you?”は、「元気ですか？」の意味だから、言ってください。クリントンさんの答えは、“I'm fine thank you and you?”です。“I'm fine thank you and you?”の意味は、「私は元気ですよ、あなたも元気ですか？」の意味ですね。“I'm fine thank you and you?”をクリントンさんが言ったら、“Me too.”と答えてください。わかりましたか？

森総理：簡単だ。ありがとうございます。

森総理さん、家帰って練習しました。“How are you?” “Me too.” “How are you?” “Me too.”・・・毎日毎日、練習しました。で、沖縄サミット行きました。そのときクリントンさんと会って、“How are you?”って言おうと思ったんだけど、ちょっと失敗しました。

森総理：Who are you?

大失敗ですね。“How are you?”は、「元気ですか？」。“Who are you?”は、「あなた誰ですか？」。大失敗で

す。クリントンさんすごくびっくりしました。

クリントン大統領：え！僕のこと知らないんですか？
有名と思ってたから……知らないのか。あ、わかりました。“I'm Hillary's husband.” ヒラリーの旦那です。

森総理：Oh! Me too.

本当の話です。でも、ここからはフィクションです。クリントンさんもちょっと冗談好きだからお応えしようと思って……

クリントン大統領：“Who are you?” え！びっくりしました。ほくのこと知らんの？ え？ みんな知ってるって、思ってた。えー。何言ったらいいの？ ああ、わかりました！ “I'm sorry.”
(執筆者註：I'm 総理) ”

[福龍氏] まあけど、反対に外国人も大変なこといっぱいあるんですよ。間違えが多いから、間違えがあるから勉強できるんですけどね。100%の日本語を喋れたら怖いじゃないですか。赤ちゃんが生まれて、いきなり “Oh hello!” とか言われても怖い。間違えから、勉強するんですね。

僕、日本に来はった時、住もうと思ってたから、言葉だけではなく「郷に行つては、郷に従え」と思ってたからね。“When in Rome, do as the Romans.” と思ってたから。日本語を覚えた方がいいなと思って、僕の友達も日本に来はった時、同じように思ってた。友達は ‘soup’ を買ったかったけど、日本語で分からなかったから。その時代は、電子辞書だけでね、スマホはなかったんだけど、電子辞書で ‘soup’ の日本語の「せっけん」を調べたんだ。「せっけん」の大事なところは、小っちゃい「っ」。小っちゃいけど、すごく大事よね。「せ」と「け」の間の小っちゃい「っ」をいれないと難しいよね。彼はね、買いに行くのに「せ」と「け」は持って行ったんだけど、「っ」は家に忘れた。

<小啾二>

友達：すいません。すいません。「せけ」はどこですか？ 「せけ」、「せけ」が欲しいんですけど、「せけ」はどこにありますか？

店員：それは英語ですか？

友達：え？ ううん。日本語、日本語です。「せけ」、「せけ」、「せけ」はどこですか？ 欲しいから。「せけ」はどこですか？

店員：いやあ、分からないわねえ。多分、‘やまや’とか ‘KALDI’ とか行ったほうがいいかもしれない。

友達：いやいや、「せけ」はどこでも売っていると思います。「せけ」はどこですか？

店員：やあ、知らんですねえ。分からない。

ギブアップされた。自分で店の中をうろうろして、見つけたんだけど、ちゃんと日本語を覚えたかったから、店の人に……

友達：すいません。これ買いたいんですけど、これ、今度から買いに行くときのために、日本語で覚えたいから教えてください。これ、どう言うんですか。日本語で、どうやって言うんですか。

店員：ああ、わかりました。これはね、「ハンドソープ」。

[福龍氏] 日本語ではないですよ。英語です。そんな話いっぱいあると思うんですけど。僕ね、初めて日本に来た時、暑かったと思いますね。カナダから来て、大阪暑かった。カナダには、「アイスクリーム・トラック」というのがありますね。そのトラックは音楽をかけながら走ってきて、アイスクリームを売りに来たのがすごく分かりやすくて、「ああ、アイスクリーム！」と思って幸せな気分になるんですね。はじめ日本に来た時、僕、アパートに住んでいて、暑かったから、「アイスクリーム食べたいなあ」と思ってた。その時、「とうーるーるーるーるーるるる」の音楽を聞いて、「ああ！ アイスクリーム・トラック！」と思ったらゴミ収集車だったの。そんな失敗が何回もあったの。冬の時も大阪は0℃ぐらいで、カナダと比べたらまだ夏と思って、アイスクリーム食べようと思って同じ感情で音楽を聞いた。「ゆーきやこんこん♪ あられやこんこん♪」って聞いて外へ行ったら、ゴミ収集車ではなくて、アイスクリーム・トラックでもなくて、灯油トラック！ 全然美味しくなかった。そんなハプニングがありました。

「ゆーきやこんこ♪」の話だけど、僕も聞き間違えがまだあった。「ゆーきやこんこん」と僕言いました。ほくは「こんこん」と聞いてたから、それ大事。間違えだった。「こん」とあったら、日本語では「こぶ」。「たんこぶ」ね。英語は「たんこーぶ」ではなく 'goose egg'。ガチョウの卵に似てるから。'goose flesh' は「鳥肌」、「さぶいぼ」。覚えておいてくださいね。

(5) 寿限無

[福龍氏] これは知っていると思うんですけど、ちょっと、違うバージョンでお楽しみ下さい。

<落語「寿限無」>

熊五郎：あ、こんにちは。

和尚：こんにちは。熊五郎さん。

熊五郎：どうぞ入ってください早く。どうぞ座ってください。

和尚：ええどうしたんですか。

熊五郎：この前は覚えてますか。最近子どもが生まれたんですよ。

和尚：そうそう。生まれたね。おめでとうございませう。

熊五郎：ああ、ありがとうございます。この前はいい名前を紹介してほしかったんですけど、覚えてますか。

和尚：ああ、覚えてます。はいはいはい。色々調べたんですけど、見てください。で、いい名前だったら、それどうぞ。

熊五郎：ありがとうございます。ありがとうございます。おお、すごいな。漢字うまいな。どうしよう。

和尚：みてね。ええつとねえ。ああ～、「じゅげむ 寿限無、ごこう 五劫の擦り切れ、かいじやり 海砂利水魚の、すいぎょ 水行末・すいぎょうまつ 雲来末・うんらいまつ 風来末、ふうらいまつ 喰う寝る処に住む処、ぶらこうじ 藪ら柑子の藪柑子、パイポ・パイポ・パイポのシューリンガン、シューリンガンのグーリンダイ、グーリンダイのポンポコピーのポンポコナの、ちようきゅうめい 長久命の長助」。

熊五郎：おおお！ いっぱいいい名前があるんですね。

和尚：よかった。じゃあ一つ選んでください。

熊五郎：え？ 一つ？ やー、むりむりむり、一つより

全部つけますよ。

和尚：え？ 全部？ いやいやいや長すぎやろ。

熊五郎：いい名前。全部良かったんだから、選ばないで全部つけたら、幸せになるから、全部つけます。ありがとうございます！

熊五郎さんは名前を持って帰って奥さんにも見せて、どれもいい名前だと思っていたから、和尚さんからもらった名前を全部つけることにした。その赤ちゃんがどんどん大きくなって、学校に行くようになって、友達たちが呼びに来て、学校と一緒にいこうと誘いに来た。へへへへへへ。やるけど、難しいのよ。練習しましたからね、静かにしてね。おおちょっと緊張するよ。間違えたら大変。だから、シー、してね。あ！ やる？ やらないやろ？ できないでしょ？ できますから。はい、まってね。

友達：「じゅげむ 寿限無、じゅげむ 五劫の擦り切れ、かいじやり 海砂利水魚の、すいぎょ 水行末・すいぎょうまつ 雲来末・うんらいまつ 風来末、ふうらいまつ 喰う寝る処に住む処、ぶらこうじ 藪ら柑子の藪柑子、パイポ・パイポのシューリンガン、シューリンガンのグーリンダイ、グーリンダイのポンポコピーのポンポコナの、ちようきゅうめい 長久命の長助」くーん、学校行きましょー！

母親：おお優しい人だなあ、まだ寝てるよ。ちょっと待って、起こしてあげるから。おい！ 「じゅげむ 寿限無、じゅげむ 五劫の擦り切れ、かいじやり 海砂利水魚の、すいぎょ 水行末・すいぎょうまつ 雲来末・うんらいまつ 風来末、ふうらいまつ 喰う寝る処に住む処、ぶらこうじ 藪ら柑子の藪柑子、パイポ・パイポのシューリンガン、シューリンガンのグーリンダイ、グーリンダイのポンポコピーのポンポコナの、ちようきゅうめい 長久命の長助」、起きて！ 学校行きなさい！

友達：おばちゃん、あのね、名前が長すぎるから。遅れるから先行くね。

学校行きました。男の子たちは遊ぶとき危ないことすることがありますね。友達の金ちゃんと遊んだとき、寿限無が金ちゃんの頭を叩いて、たんこぶができました。金ちゃんが寿限無の家まで行ってたんこぶを見せます。

金ちゃん：う～んうんうんうん。「じゅげむ 寿限無、じゅげむ 寿限無、

五劫の擦り切れ、海砂利水魚の、水行末・雲来末・風来末、喰う寝る処に住む処、藪ら柑子の藪柑子、パイポ・パイポ・パイポのシューリングン、シューリングンのゲーリンダイ、ゲーリンダイのボンポコピーのボンポコナの、長久命の長助」くんが、頭を叩いてたんこぶができましたよ。

母親：金ちゃん、かわいそうに。私の、「寿限無、^{じゅげむ} 寿限無、^{ごこう} 五劫の擦り切れ、^{かいじやりすいぎょ} 海砂利水魚の、^{すいぎょうまつ} 水行末・^{うんらいまつ} 雲来末・^{ふうらいまつ} 風来末、喰う寝る処に住む処、^{ぶらこうじ} 藪ら柑子の藪柑子、パイポ・パイポ・パイポのシューリングン、シューリングンのゲーリンダイ、ゲーリンダイのボンポコピーのボンポコナの、^{ちようきゅうめい} 長久命の長助」が、金ちゃんの頭を叩いて、たんこぶができましたよ。かわいそうじゃないですか。

熊五郎：ええ！俺の「^{じゅげむ} 寿限無、^{ごこう} 寿限無、^{かいじやりすいぎょ} 五劫の擦り切れ、^{かいじやりすいぎょ} 海砂利水魚の、^{すいぎょうまつ} 水行末・^{うんらいまつ} 雲来末・^{ふうらいまつ} 風来末、喰う寝る処に住む処、^{ぶらこうじ} 藪ら柑子の藪柑子、パイポ・パイポ・パイポのシューリングン、シューリングンのゲーリンダイ、ゲーリンダイのボンポコピーのボンポコナの、^{ちようきゅうめい} 長久命の長助」が、頭を叩いてたんこぶできたのか。ええー。そんなあ。ねえ、おばあちゃん……

おばあちゃん：おお！どうしたん？ええー私の「^{じゅげむ} 寿限無、^{じゅげむ} 寿限無、^{ごこう} 五劫の擦り切れ、^{かいじやりすいぎょ} 海砂利水魚の、^{すいぎょうまつ} 水行末・^{うんらいまつ} 雲来末・^{ふうらいまつ} 風来末、喰う寝る処に住む処、^{ぶらこうじ} 藪ら……」

熊五郎：ばあちゃん。入れ歯。

おばあちゃん：くちやくちや。「……柑子の藪柑子、……」

金ちゃん：あああ、もう長いからいいです。

母親：ちょっと金ちゃん。たんこぶ見せて、あれ、たんこぶどこですか。

金ちゃん：え？あああーん！あ、あ、あ、あ、名前が長すぎたから、たんこぶ、飛んでっちゃった。

5. 二席目 (第2部)

(お囃子の音楽……拍手)

[福龍氏] あ～よかった～。皆さんえっと日本語大丈夫だったですか？よかった、よかった。今回はちょっと英語の感じでいこうと思ってるけど、本当に気にしないでください。雰囲気で分かりやすいと思います。“How many people came on? Very good! Sorry, very good ok!”、みんな大丈夫でしょうか？

[観客] はい！

[福龍氏] 良かった。ありがとうございます。

So, how many people can speak English? Don't worry. I think you can speak English. No problem. Don't worry. So, ahahaha, yeah, Japanese people are very nice. When I came to Japan, I couldn't speak much Japanese, but if I said “こんにちは” then “おお、日本語上手いな”。すごい優しいね。Very nice, yeah. So I can speak French. And I learned French for about 10 years in school. And when I speak French people as “フランス語が分かりません” “あなたのフランス語は下手やなあ”。フランス人厳しいですね。日本人は優しいから。ありがとうございます。

So, but don't worry. It's ok. In English, it's the same as Japanese *Rakugo*. English *Rakugo*, Japanese *Rakugo*, it's the same. Just in English. When I use gesture you can maybe understand. One thing I want to teach you about the *Sensu*, I can use as a pen. But also you can use it as for eating. What do you call those when you eat? In Japanese, it's called?

[観客] *Hashi* (chopsticks)

[福龍氏] *Hashi*, in English it's called? 'Chopsticks', yes! If I show many different things in Tokyo area, what is the famous noodles in Tokyo?

[観客] そば？

[福龍氏] *Soba*! Very good! Bonus point! But I'm from Kansai area, so we are famous for?

[観客] うどん。

[福龍氏] *Udon*! Very good! Oh you get points too. Very good. So, there are a difference when we eating *Soba* or *Udon*, there are different manner right? So one

thing you get the bowl you want to imagine there is the bowl. Then I have chopsticks, before I eat the noodles what is important? After *itadakimasu* right? Between *itadakimasu* and eating the noodles, you should?

[観客] ふーふー？

[福龍氏] Blow? Ok, blow and a *fu-fu* (the sound eating the noodles). Yeah, that is important, but also try the soup. Try the soup, yeah. *Dashi* is the most important. Specially Osaka for the *Udon*. *Dashi* is important. So, before you should try '*fu-fu*', ah, *itadakimasu*. So in *Rakugo*, it's very important to look at the edge of here when you looking at the noodles because if you do like this. (He made a gesture to pick up noodles with chopsticks.) So yeah maybe give you an image like long noodles and *fu-fu-fu* (the sound eating the noodles) ummm al dente. (He threw noodles for the audience.)

[観客] (She made a gesture to catch noodles with chopsticks.)

[福龍氏] Oh very good.

[観客] (Applause)

[福龍氏] She is clever. Good imagination yeah. So next story is a little bit different. Last story I talked about the *Jugemu*.

This story is about a kind of lazy boy. 怠け者ね。Very lazy boy. And before I start the story I wanted to try a bit *kobanashi*. *Kobanashi*, English is a short story. Very easy to remember in English right?

(1) The 1st comic anecdote

[福龍氏] There is a doctor. How to say 'doctor' in Japanese?

[観客] お医者さん。

[福龍氏] Very good. And how do you say 'patient' in Japanese?

[観客] 患者さん。

[福龍氏] *Kanija*, *Kanija*. How do you say 'operation' in Japanese?

[観客] 手術。

[福龍氏] *Shyujyutsu*. Yeah! How do you say 'the first-time operation'? I'll give you a hint. (He made a gesture.)

[観客] 初めての手術。

[福龍氏] Yeah! Very good. Thank you. '*Hajimete-no-Shyujyutsu*' means 'the first-time operation'. So the patient is very nervous because it's the first operation.

Patient: Doctor doctor, I'm very nervous.

Doctor: Really? Why?

Patient: Today is my first operation. So I'm very nervous.

Doctor: Oh, don't worry. It's okay. Today is my first operation too.

[福龍氏] How do you say 'pain' in Japanese?

[観客] 痛み。

[福龍氏] Yes! '*Itami*', 怖いね。I live close to '*Itami Kukou*' (執筆者註：伊丹空港). Yeah, so may be I use '*Kansai Kukou*'. '*Itami*' means pain. So patient goes to the doctor.

Patient: Doctor, doctor, I have pain all of my body.

Doctor: Eh, all of your body? Oh! okay, let me check you out. Please touch your leg.

Patient: Touch my leg? Okay. (While he pointed his toes with his fingers.)

Doctor: なるほど。Okay, please touch your head.

Patient: Okay. Ehh! (He made a painful gesture.)

Doctor: Umm, I see, I see. Okay, please touch your nose.

Patient: Uuu, my nose. (He made a painful gesture.)

Doctor: Umm, okay. ちょっと待ってね。Umm, your body is okay, but your finger is broken"

(2) The 2nd comic anecdote

[福龍氏] Another one is the boy and girl. And the boy's name is Tom and the girl's name is Alice. Alice likes to Tom, so Alice asks so many questions.

Alice: Hey Tom. Hey Tom. Do you have any pets? ペット持ってますか？

Tom: Oh, yes. I have many many pets.

Alice: Oh, many pets! Oh wow. カッコいいねえ。Which pet is the noisiest pet?

Tom: Noisiest pet... Ah, Trumpet.

Alice: Which pet is the quietest pet?

Tom: Quietest pet... Ah, my carpet.

Alice : Which pet is the hottest pet?

Tom : Hottest pet... Ah, my hot carpet.

Alice: Which one is the coldest pet?

Tom: Coldest pet... Ah, my choppet.

‘choppet’ は僕のアイスクャンディーね。分かりにくいかもしれないね。

(3) The 3rd comic anecdote

[福龍氏] So this is the English *Kobanashi*. One more I had. On the train I saw the grandmother and grandson. And he has lots of questions.

Grandson: Grandma. Grandma. I have a question.

Grandmother: Oh, what is it?

Grandson: Ah, olive oil is made from olives?"

(Blowing laughter)

Grandmother: Oh ~ , very good. Yeah. You are claver.

Grandson: Grandma. Grandma. I have another question. I have another question.

Grandmother: Okay, what is it?

Grandson: Ah, coconut oil is made from coconuts?"

(Blowing laughter)

Grandmother: Oh ~ , very good. Yeah, You are clever.

Grandson: Oh ~ grandma. Grandma, I have another question. Olive oil made from olives, yes. And coconut oil made from coconuts. Baby oil mmm, baby?

Grandmother: No. Actually, I don't know what baby oil made from but I hope not babies.

怖かったね。

(4) A lazy boy

[福龍氏] This story is about a lazy boy. He keeps losing his job. So, every job he gets many jobs but he can't keep the job. So he asks his uncle for some advice for a good job for him.

Lazy boy: Oh ~ , hello uncle.

Uncle: よしよし come in. I want to talk with you.

Lazy boy: Oh, what about?

Uncle: I heard you quit your job again. Yeah, well why

did you quit your job?

Lazy boy: Well...I could find a perfect job, I can do it, but so far I can't find a perfect job.

Uncle: Okay so how about you tell me what would be the perfect job? What are your conditions? What are the roles you want for the perfect job?

Lazy boy: Perfect job... OK! Very important no.1. I don't want to use my body.

Uncle: Don't want to use your body?

Lazy boy: Yeah. Ah... I don't want to do heavy lifting or things like that.

Uncle: Oh, okay okay. You don't want to use your body. Is that all?

Lazy boy: Unn, no no no. I also I'm kind of shy, so I don't want to do any talking.

Uncle: No talking... Okay. So,that's it, right? No talking and no body. I see.

Lazy boy: No no no! This is also very important. So ちょっと恥ずかしいことだけどね, I'm not so smart. ちょっとあほだからね, I don't want to use my brain.

Uncle: You don't want to use your brain. Okay. Umm. No brain. No body. No talking. I see. That's it, yes?

Lazy boy: Umm, I have to get 10,000 yen a day.

Uncle: 10,000 yen a day!?! No talking, No thinking. And no body. That's it?

Lazy boy: No no no! This is also important. I'm not very good at waking up in the morning, so it has to start at 11 am. and finish at 3 pm.

Uncle: That's only 4 hours. 4 hours no talking, no thinking, no body 10,000 yen... Hahaha, you are joking. You are very funny.

Lazy boy: No no no! It's not a joke. I'm serious. It has to be this. It's my role for my perfect job.

Uncle: えええ。What should I do? Ah, wait for a minute. You know what. I have a perfect job for you. My friend is looking for somebody just like you. So, just a moment. I will write your letter of recommendation. Alright, okay please give this to my friend and he will give you the job.

Lazy boy: Oh, thank you, uncle. Woww! What? Oh, interesting. Okay, I should go to this address.

Okay. Thank you, uncle. Uncle now, thank you!
Oh, my uncle is so nice. He gave me a nice letter
of recommendation for a new job. 楽しみですね
...

What should I...Where I'm going!? え、ABC
company? え、ABC what? ABC company stands
for uuu? I don't know. Oh, maybe ABC stands
for Asahi broadcast cooperations. えええ、いい
な。でも、なんかちょっとあほではできない
な、この仕事ね。ええ、あ！ I know! Maybe
it's stands for Asahi Brooming company. Oh I
don't think it's that. 楽しみする。Okay. ABC..
ABC.. Ah! There are ABC! I got it!
Excuse me. Excuse me. I'm looking for the
manager Osada.

ABC Company man: Eh?

Lazy boy: I'm looking for the manager Osada. Salada,
No no I'm not hungry. I already ate. No, no, not
salad, Osada!

ABC Company man: Eh? Onara?

Lazy boy: No no! いらんいらん！ Not onara! Osada!
The manager!

ABC Company man: Oh, sorry sorry. Osada manager.
He is two doors down.

Lazy boy: Ah, Thank you very much! (The sound of
knocking on the door)

Osada Manager: Come in.

Lazy boy: Hello. Are you Mr. Osada manager?

Osada Manager: Oh, yes. I'm Osada. Nice to meet you.
はじめまして！

Lazy boy: Mr. Osada, I have this letter of recommendation
for you.

Osada Manager: Oh, Thank you very much. 見せてい
ただこう。I see. ほうほうほう。You okay
okay! Let's get start it!

Lazy boy: Sorry, Mr. Osada. I have a few questions.
What does ABC stand for? What does ABC?

Osada Manager: Nobody told you?

Lazy boy: Nobody told me. Just basic come.

Osada Manager: Okay, well ABC stands for 'Animal
and Bird Center'.

Lazy boy : Animal and Bird Center. This is a zoo? 動物
園？

Osada Manager : Yes that's right. This is a zoo. That's
exactly. So anyway let's get start it.

Lazy boy : Oh, Mr. Osada. What's the job?

Osada Manager : Oh, nobody told you?

Lazy boy : Nobody told me. What should I do?

Osada Manager : Well, okay. I should give you some
advice and let you know. A few weeks ago, our
attraction price died. Very sad. And all the
children loved this attraction. He is the No.1
attraction. So we would like you to help.

Lazy boy : Okay, so... I still don't understand. What
was it? Some kind of juggler or a zookeeper or
something like kind of entertainer? What
attraction?

Osada Manager: No no no! It was a tiger.

Lazy boy: Oh, I see. What!! Sorry!! Tiger!? I don't
understand. Oh, I see. You want me to go to
another zoo and bring you a new tiger.

Osada Manager: Ah, no. We would like you to be a
tiger.

Lazy boy: え!! Me!! A tiger? No, no, no, I can't be the
tiger. No, no, no, tigers are strong.

Osada Manager: No, no, no, it's okay. All you have to
do is just walk around the cage. 散歩だけです
よ。Just walk around the cage. Very easy.

Lazy boy: Oh, well Mr. Osada I need to tell you. I'm not
good at talking.

Osada Manager: Tigers don't talk. No talking.

Lazy boy: But Mr. Osada I also have to tell you. I'm not
so clever. ちょっとあほだけどね～。

Osada Manager: Don't worry. Smart people can't do
this job.

Lazy boy: Thank you.

Osada Manager: Okay. So let's go!

Lazy boy: No no no. Mr. Osada. Well, what time is it
start?

Osada Manager: We open at 11 am and we closed at 3
pm.

Lazy boy: Oh. Mr. Osada. How much does it pay?

Osada Manager: Well, we pay 10,000 yen a day.

Lazy boy: Oh, 10,000 yen. Okay I will do it! I will do it!

Osada Manager: Very good. Alright. So please put on
this to tiger skin and we can get start.

- Lazy boy:** え。 Tiger skin?
- Osada Manager:** This one.
- Lazy boy:** Tigerskin? 本物みたいな。 This looks real.
- Osada Manager:** Yes, actually we loved tiger so much.
We made a tiger costume. All tiger.
- Lazy boy:** Oh, I see. That explains the smell. okay, No 'fabreze'? Okay. What should do? (He's going to wear it.) Right leg... ちょっと太ったな。 Okay, left arm, right arm, hahaha. 恥ずかしい。 I forgot the zipper. (The sound of closing a zip) . Oh, I'm a tiger. (Imitation of the cry of a tiger)
- Osada Manager:** Okay, so if you are ready we can get going.
- Lazy boy:** Ah, Mr. Osada. What should I do?
- Osada Manager:** Please follow me. We have no time.
Come on. Please get into the cage.
- Lazy boy:** Okay! ガラガラ, Mr. Osada you've just locked the cage!?
- Osada Manager:** It's okay. It's okay. It just makes more real. So when the kids come, you looks like a real tiger.
- Lazy boy:** Ah, okay okay. So what should I do now?
- Osada Manager:** Well, here let's try walking. You need to try walking. So please walk around. Let's try. Okay? Hey what do you doing?
- Lazy boy:** Ah, I'm walking around the cage.
- Osada Manager:** Tiger walks on 4 legs. Not 2 legs. 4 legs! Tigers 4. Humans 2. Okay?
- Lazy boy:** Oh, sorry. Mr.Osada, I've never been a tiger before. My first time to be a tiger.
- Osada Manager:** Okay. Come in. We have no time. Watch me quickly. First, you put your hands like this. Okay? And then, you go one and two and three and turn, and one and two and three and turn. One, two, three and turn. One, two, three and turn. Okay?
- Lazy boy:** Oh, Mr.Osada, you are very good. Was your father a tiger?
- Osada Manager:** What you are talking about? My father is not a tiger. Anyway, you try! No time! Come on! Hurry up! You gonna start. You try.
- Lazy boy:** Oh, how did you do that? ええっと、 One and two and three and turn and turn and one and two and three and turn. One, two, three and turn. One, two, three and turn. One two three and turn. One, two, three and turn.
- Osada Manager:** Much much better. Okay so anyway if you have no more questions, we can get start.
- Lazy boy:** Okay! Thank you very much Mr. Osada! 頑張ります〜! Thank you! Bye! Oh, Mr. Osada what a nice guy. What is in the next cage? 隣のケージなんかおったかな。 It's empty. Oh oh, the white big lion just jumped out of the bush. Oh, wow. Hello. Mr. Lion! Haha, okay. It's opening. Look at all children. Wow they are coming. That's right. I'm the main attraction. I forgot. Okay, I have to try my best. Okay act like a tiger.
- Child:** Mom! Mom! This tiger! He looks strange. ちょっと変なトラやなあ。
- Mom:** I think they don't feed very much, so he looks kind of sad, doesn't you?
- Child:** So I'm going to through the rock side him. 石投げるからね。
- Mom:** どうぞ。
- Lazy boy:** What?? Bad boy. (A roaring voice)
- Child:** This tiger, he barks like a dog.
- Mom:** Tigers don't bark like a dogs. They bark likes 'Gao-o-o-o'.
- Child:** But he barks like a dog!
- Lazy boy:** Uh, mistake. Be care full. Actually, before I came here, I didn't eat breakfast. I'm getting kind of hungry. That boy he gets some bread. おいしそう。 I have plan. Hey boy, hey boy, give me your bread.
- Child:** Oh, Mom! Mom! This tiger, he told me to give him my bread.
- Mom:** Tigers don't eat bread. They eat meat. 肉食やろ。 They don't eat bread.
- Child:** But he said to give your bread.
- Mom:** Why don't you give it to him. Give him bread? Okay.
- Child:** You want bread, Mr. tiger? Here you are.
- Lazy boy:** Ho-ho-ho, he gives it to me. Aha-ha-ha, ho〜. いただきます〜 Thank you. (He takes off the tiger's face.)

Child: Oh, Mom! Mom! This tiger, he pulls his hands up.

Mom: What you are talking about. Are you okay? Tigers don't pull their hands up when they eat.

Child: うう、怖かった。He pulls his hands up. こわいい。

Mom: Would you go home?

Lazy boy: Uh, mistake. Hey, why this guy coming? He looks important. He has a microphone. Why he is coming to front of my cage, what is he saying?

The Man: Ping pong pang pone. Ladies and gentlemen, boys and girls welcome. Welcome to our special show! In this cage, we have a white lion. And this cage we have a tiger. In a moment, we open the both cages. The lion will enter this cage and they will be a big fight. Who will win and who will die. Please your seats. Let's get ready to watch.

Lazy boy: What!? What!? Nobody is saying about fighting with lion. えええ、no no no.1万円じゃ not enough. No no no I can't do this job. Mr. Osada help me. Help me, Mr. Osada. I can't do this. Don't open the cage. Mr. Osada hurry up! No no no, don't come in. Please don't come in to my cage. Mr. Osada, what should I... (He tries to mimic the barking of various animale's variety of barking imitations), Mr. Osada?

So the lion slowly closer and closer to the tiger and open the giant mouth beside his head.

White lion: Hey hey hey Tommy (lazy boy). It's me, the manager Osada!

6. ミニ・トークショー (第3部)

(1) 「食」に関する文化の違い

[福龍氏] おおーみなさんお久しぶりです。ええーどうでしたか。分かりやすい? 分かりにくかったですか?

[観客] 分かりやすかったです。

[福龍氏] 分かりやすい、よかったです。分からなかった方たちは、隣が笑ったら大丈夫ね。よかった、よかった。ちょっと話んですが、僕はカナダからきました。いろいろ違いがありますね。えー、

ひとつの違いは、食べ物の量とかは、違うんですね。たとえば店行って、飲み物頼むと、日本の方はすごい氷好きですね。飲み物の氷なしでくださいと言ったら、飲み物の分はこれっぽっちしかない。いやいや氷なしで、ここまで(執筆者註: コップいっぱい) に入れてくださいと思った。

[観客] (一同、笑い)

[福龍氏] もうひとつの食べ物のことは、みんなフライドポテト好きよね? フライドポテトのイメージは、僕は普通ケチャップを使うと思ってるんだけど、日本のお店のテーブルには醤油とかはのせてる、醤油とか七味とかそんな感じですね。カナダだったらケチャップとか塩コショウとかのせてる感じですね。そやからフライドポテト頼んだとき、「ちょっとすみません。ケチャップ頂いていいですか。」と言うと、フライドポテトは結構たくさん盛って出てくるんですが、ケチャップはちょっと、ちょっと……フライドポテトはいっぱい残ってるからどうしようと思ってしまう。それすごいびっくりね。カナダだったら、ケチャップの瓶があるからお好みで大丈夫。逆にカナダ人もつけすぎかもしれないね。僕もソース大好きだから、いろいろのソースをお楽しみするね。

けど、逆バージョンのびっくりも。日本においてバンクーバー空港に帰ったとき、4年ぶりで帰ったから、ちょっとカルチャーショック、「リバース・カルチャーショック」。バンクーバー空港について乗り換えるのに5時間待ってないとだめでね、そのとき何か飲もうと思って、「small tea、お茶ください」と言って、「小さいのをお願いします。」って頼んだときね、「ドカン」ときたね。「えー、いや、これちょっと'small' ください。」って言ったら、「This is a small.」。

[観客] (一同、笑い)

[福龍氏] カナダの small、日本の large より大きい。で、僕は「じゃあ、large はどんなサイズですか?」って聞いたら、「ほーかーん」(執筆者註: 超特大のジェスチャーをしながら)。いやこれ、飲めるー!? 全然違う感じ。

(2) カナダと日本の国土

[福龍氏] 人口は、日本はカナダの4倍くらいですよ。けど、カナダは世界で2番目に大きい国です。

で、人口は3600万人くらいしかないね。で、日本の国土は62番目に大きい国ですね。僕の州、マニトバ州というところは湖があって、五大湖。みんな知ってるかもしれないんですけど、えっとー、大体6番、カナダの6番目に大きい湖ですね。その湖は、本州くらいの大きさ。だから、みんな行ったら海とってるんだけど違う。で、1番大きい湖は本州くらいの大きさだけど、マニトバ州だけで十万個の湖がありますね。全部その大きさではないけどね。もっと小さいけど。まあ、琵琶湖みたいな大きさのもいっぱいあるからみんな信じられない感じですね。

(3) カナダと日本の共通点

[福龍氏] んー、あとはー、culture difference ね、文化の違いと思って。まあ、同じ感じの文化、同じ感じはどっちも紅白国旗ですね。

[観客] ああー (笑)

[福龍氏] カナダ赤白ね。紅白。僕はえっとー、夏はよう日焼けするから、僕は白人じゃなくて紅白人。それが似てる場所。あとー、どっちも安全な国と思いますね。僕が、日本はすごいいいなーと思ってることは、夜に一人で散歩やったらあんまり気にしない感じ。皆すごい優しい、いつも手伝いますとか。初め日本に来たとき、電車が難しかった。僕の国では、国の電車はある。ウィニペグにもある。国の電車はあるんだけど、市内を走る電車がな。寒すぎるからだと思うね。バスか車か、タクシーしか使わないんですね。まあ、自転車とかも使うんですけど。その電車が、日本では、どこの線と、どこの線と、どこの線を使わないとダメとか、それがすごい難しかったね。最近、Googlemap がジョルダンとかもあるからそれすごい便利ですけど、19年前はなかったんですよ。そのとき、すごい大変だったから、どこか仕事行くとき、プリントを頂く。Map、地図のプリントを頂いて、でも読めないから、「すみません、ここどこですか?」って言った。「あー、んー、こっちの方です。」で、向こうの方に行ったら、また、「すみません、えっとー、ここ探したいんだけど、どこですか?」「向こうです。」ってことが、時々ありました。最初は、まあ大阪の方、電が多いと思ったんですけど、関東の方のもっと多い!倍、倍、ん?倍の倍かもしれないですね。なんかそれも、今日も来

はったとき、大阪からめっちゃ早く出たんですよ。んっとー、なぜは間違いたくなかったから。間違えても、まだ時間あるなーと思って、だからたまたま間違えて、反対方向の電車乗るとか、そういうのよくありますね。

(4) 質疑応答

質問1: 日本語の難しさはどんなところ?

[福龍氏] 何か質問ありますか?

[観客] 日本語を学ぶときに、一番難しいと感じたところはどんなところですか?

[福龍氏] 一番感じた難しいことは漢字かな。あとは、発音が変わったら意味が変わる。「箸」と「橋」と。「鳥」と「鳥居」、「通り」。難しいですね。あと、さっきちょっと言ったんだけど、同じことで別の言葉があります。たとえば、「何歳ですか?」と「いくつですか?」、全然違う。だけど意味は一緒ですね。それが難しかった最初はね。

カナダでちょっとだけ日本語勉強したんだけど、簡単な日本語ですね。ひらがなとカタカナと、あと挨拶とか。すごい簡単な感じやったね。だけど、日本来てから居酒屋で勉強して、標準語ではなくて尼弁を覚えたんですね。尼崎弁。全然違うんですね。それで、ちょっと標準語をレベルアップしようと思って、できれば働きながら覚えたくて「クロネコ」で、ちょっとだけバイトしました。標準語覚えるためだから、運転ではなくてベース店で働いて、そこには運転手が来る。だけど、運転手と話すときは、ほとんど大阪弁ばかり。

[観客] ああー (一同、笑い)。

[福龍氏] そうそうだから、標準語全然レベルアップできなかったんですよ。で、逆に漢字がレベルアップできました。住所の読み方とか。関西の方の読み方と関東の方の読み方は違うね。大阪では、「十三」は「じゅうそう」。なんで「じゅうそう」やんね。「じゅうさん」やろ。そうそう、あと、関西の方では「吹田」は「すいた」、「吹田市(すいたし)」。それ、関東の方で読んだら「ふきた」。だから、全然違う感じね。そうー、それ難しかった。

質問2: なぜ、落語をはじめたの?

[観客] なぜ、落語をやると思ったんですか?

[福龍氏] おおー、それ良いことですね。まあ、19

年前の時、落語のこと全然知らなかったんですよ。えっと一、「笑点」ぐらいは分かってたんだけどね。だけどそれ(執筆者註:「笑点」)、落語家がやるけど、落語ではない。9年前ぐらいに、友達が落語のこと僕に紹介しました。友達から「落語、知ってますか?」と聞かれて、僕は「座布団一枚のことぐらいは知ってるんだけど」って答えたら、友達「いやそれ、笑点です」。

[観客] (笑)

[福龍氏] 友達は「落語家やってるけど、それ大喜利です。」って。僕は「Oh 大喜利…大喜利は何ですか?」ってきいたんだけど…大喜利知らない?たとえば、「日本女子大学とかけまして着物とく」。

[観客] その心は?

[福龍氏] どっちもきてみて(来てみて/着てみて)良かった。

[観客] わー(一同、歓声・拍手)

[福龍氏] これが大喜利。僕、もともとプロのマジシャンとバルーンアートをやっていた、カナダだね。その「ネタ」があるじゃないですか。落語も「ネタ」、'story telling'。だから、友達が僕に合うんじゃないかなーと思って、「このビデオ、観てください。」って。それで、ビデオで桂枝雀師匠の日本語の落語を観た。桂枝雀師匠、知ってるかもしれないけど、英語落語のバイオニア。僕の福団治師匠は手話落語のバイオニア、日本語だけだね。枝雀師匠の落語を観て、すごい面白いと思ってたら、友達が「英語落語のクラブ知ってるから、紹介しましょうか?」って、それから始まったんですね。

質問3: 福龍氏の紋の意味は?

[観客] 羽織に素敵な紋がついてるんですが、カナダの国旗となんか周りは動物のような気がするんですが…。

[福龍氏] よう見たなー。

[観客] (一同、笑いと拍手) すごく興味があって、ちゃんと見台にも紋が同じ…。

[福龍氏] よう見たー、ありがとうございます。ちょっと待ってください。説明します。膝隠しですね。これね、この紋はね僕のオリジナルの紋ですけど、えっと一番真ん中のここはね、春団治一門の紋の花菱。その周りはカナダ人だから楓。その周りは動物



写真6: 桂福龍氏の「紋」

ではなくて龍です。で、僕は福龍。

[観客] ああー。名前から取って。

[福龍氏] そうそう。僕、福龍やけど、もともと福龍ではなかった。もともと「デューク・カナダ」という芸名で英語落語でまわってたんですけど、その「デューク・カナダ」の漢字は「デューク」の漢字、「デュー」がないから「龍」を使ったんですよ。で、「龍」が「来」る。カナダはダジャレで、「彼方(かなた)」に点々(執筆者註:濁点)をつけたんですね。彼方は遠いからね、彼方。入門してから花菱、頂きました。そう、そういうことです。

質問4: 膝隠しと座布団の使い分けは?

[観客] 一話目は膝隠しを使ったけど、二話目は座布団だけになった。使い分けは?

[福龍氏] そうですね、えっとさっき説明したんですけど、「江戸落語」と「上方落語」の違い、いっぱいありますよ。一つは、江戸落語は寄席の中から始まったんですね。ちょっと真面目、静かな感じで、シンプル。座布団だけ使ってるんですね。上方落語は外(執筆者註:大道芸)から始まったから、お客さんが来るためにちょっとオーバーにしないとダメ。あと膝隠しと見台は上方落語だけが使うものですけど、全部のネタではないです。いつも師匠たちに、出る前に見台ありますか?と聞いて、いるかどうか確認するだけ。いつもはいらない。最初の寿限無のネタは見台ありの方がいいなと思って、動物園はよく動くから見台が邪魔なんですね。

[観客] それは自分で決めていいってこと?

【福龍氏】 えっとー、自分で決めて今日はいるかどうか。今回は両方使ったらいいなと思って、二つネタするからありとなしがいいなと思いましたから。

質問5：師匠との練習は何語？

【観客】 福田治師匠の11番目のお弟子さんということでしたが、師匠との練習はどういう条件というか、どういう環境の中でやってたんですか？英語でやるわけじゃないんですよね？

【福龍氏】 日本語、日本語！もちろん日本語で。師匠、英語は分からないけど、たまに僕と連絡するとき師匠は、'Hello? Good morning? How are you? Very good, very good.'。そんな感じですね。

【観客】 (一同、笑い)

【福龍氏】 あと、よく舞台終わったら打ち上げあります、落語家は毎日打ち上げありますから。その打ち上げも師匠、えっとカラオケ大好きだから、たまに英語で歌うんですよ。'Mary Jane'、知ってますか？英語で歌うんですよ。で、僕一番びっくりしたのは、師匠の発音。すごい上手いんですよ。「カタカナ」な感じではなくて、ちゃんと歌ってる。もう一つのびっくりは、すごい上手いんだけど、意味全然分かってない。だから、稽古するときは日本語。僕がちょっと楽なところは、最近、'technology'があるから録音できます。師匠の時代は弟子入りする時は、覚えないとダメですね。それしかなかったから、すごい尊敬してます。難しいですよ。

質問6：今後の目標は？

【観客】 お仕事でもプライベートでもどちらでもいいので、これからの目標とか、してみたいこととかぜひ教えていただきたいと思います。

【福龍氏】 おお～。えー、まあ、一つ目は、師匠の目標でもあるんだけど、落語を海外に広めてほしい。そう、師匠の目標で僕も同じ目標なんだけど、これは一番目の目標ではない。僕の一番目の目標は、日本の若い子たちに落語を紹介したいことですね。最近、スマートフォンとか色々なテクノロジーが多いから、テクノロジーなしでも楽しいよーということ伝えることが、僕の目標ですね。あとは、英語落語やったら、最近は中学生から英語の授業の本でもちょっと入ってますよね。そう、動物園とかも、短いバージョンだけど入ってると思う。'This is

a pen.'ではなくて、楽しくで英語を覚えられたらいいなーと思ってるからそれもいいかなと思いました。プライベートはね、プライベートは最近時間ないね。まあ、プライベートは、僕、温泉とか大好きですよ。温泉もっと行きたいなーと思って。あと焼肉食べたい(一同、笑い)。

6. 教育学科の会会長(田中雅文先生)挨拶

今日は福龍師匠、本当にどうもありがとうございます。色々お話を聞いて、特に前半の部分で、やはり話すっていう時には、間合いの取り方とか発声の仕方とか、それから表情とかですね、ジェスチャーみたいな身振り、そういうもので伝わり方は全然違うんだなあということを改めて感じました。私も授業であそこまでやれると、もっと学生が喜んでくれると思ひまして、ちょっと「弟子入りしたいなー」というような気持ちで今日は勉強させていただきました。

とても印象的だった言葉の一つは、今、テクノロジーがあまりにも進歩しすぎているので、「テクノロジーを使わない楽しみを味わってもらいたい」というように仰った言葉です。それはすごく心に響きました。社会が全体的に情報化、技術進歩で、あまりにも子どもの段階から、機械を使いながら楽しむことが非常に進歩してしまっているものですから、落語であるとか、日本の伝統的な文化とか芸能とか、機械に依存しない楽しみ方をどうやったら我々がもうちょっと広げていけるのか。おそらくそのためには「落語」、今、福龍師匠ご自身がやってらっしゃることだと思うんですけど、「落語」という伝統的なものを今の現代の人たちに、いかに楽しんでもらえるかを何か橋渡しするようなことが大切になってくるのかなと。そういう意味では、「落語」という世界自体が、現代の変化に合わせて少しずつ変わりながら、現代の人たちにも楽しめるように新しく再創造していく、というようなことなのかなと感じながら聞いておりました。我々、教育学に関係する者も、そのあたりも考えながら、子どもたちの成長、また大人の成長と言いますか、充実というものですね、「テクノロジーなし」でどのようにやっていけるかっていうことを改めて考えていきたいと思いました。今日は本当にどうもありがとうございました。

7. 閉会の挨拶

本日はお忙しい中、日本女子大学にお越しいただきまして誠にありがとうございました。私たちにとって、このような落語の話を間近で聞ける機会は無かったにないため、本日の講演はとても良い経験になりました。今日こうやってお話を聞いて落語ってこんなにも面白いんだと気づくことが出来て大変嬉しいです。これからは、携帯やインターネットから離れて、こうやってお話を聞いて楽しんでみたいとか、本を読んだりとか、もっと日本の文化に触れてみたいと思いました。本日はこんな楽しい時間ありがとうございました。

IV. 講演会参加者アンケート

講演会終了後、参加者に対して任意のアンケートを実施し、26名から回答を得た。本章では、アンケート結果を基に、落語に対するイメージがどのようなもので、講演会を通してどのような変容があったかを検討する。

アンケートでは、まず、どのようにしてこの講演会を知ったか、(1.SNS、2.知り合いの紹介、3.町のポスター、4.葦、5.プロ演受講者、6.その他)から尋ねた。【図表1】は回答結果である。

【図表1】から、本学卒業生は『葦』を見て参加した人が多く、在校生と卒業生を結ぶツールとしての『葦』の重要性がわかる。一方で、どのタイプの参加者からも、SNSという回答はなく、今後、SNSの活用に力を入れていかなければならないことを痛感させられる結果となった。たとえば、今回、影響

力が大きいと分かった『葦』に、企画ごとにSNSのQRコードを載せるなどの工夫をおこない、まずは卒業生から「教育学科 SNS (Twitter・Instagram)」の普及を徹底していく必要があると考える。

次に、講演内容(1.イントロダクション、2.一席目(日本語)、3.二席目(日本語・英語)、4.トーク)の中で、最も興味深かったテーマについて尋ねた。結果は、「一席目(日本語)6人」「二席目(英語)13人」「トーク1人」「その他3人」となった。回答者半数以上が、二席目の英語落語を面白いと感じており、日本文化である「落語」を外国語でどのように表現するのかということへの関心の高さがわかった。

またアンケートでは、「この講演会に参加して落語に対するイメージはどのように変化しましたか」という質問に自由記述方式で回答してもらった。【図表2】は、寄せられた回答を整理したものである。

これらの記述からは、身振り手振りや、扇子・手ぬぐいなどの小道具を用いて、観客の「想像力」を膨らませながら、嘶の世界を豊かに伝えていく落語の技術に魅了され、「コミュニケーションの大切さを改めて学ぶ」きっかけになったことが窺える。また、一般的な日本語の落語に加え、英語での落語講演を取り入れることで、参加者にとって日本文化と異文化の融合を楽しめる場となったことがわかる。「外国人のための英語落語、聴覚障害者のための手話落語など、客によりそう落語の作り方があってより身近に感じた」という感想にもあるように、狭い意味での「日本文化」という一つの枠のなかだけには収まりきれない「落語—RAKUGO—」のインク

【図表1】 何で本公演を知ったか

	本学生	卒業生	地域の方	教職員 その他	計(人)
1.SNS					0
2.知り合いの紹介	2			3	5
3.町のポスター	1		2		3
4.葦		8			8
5.プロ演受講者	3				3
6.その他	1	3		3	7
計	7	11	2	6	26

【図表2】本講演に対する感想

落語は話す人と扇子、タオルで何でも表現し、観客の想像力をふくらませることが素晴らしいと思った。落語の奥深さを感じた。
実際に顔をあわせて表情、身振りを通してコミュニケーションできる大切さを改めて学んだ。
教員は話すことが仕事の1つなので相手に伝えるための技術としてみんなに知ってほしいものだったと思った。
もっと気軽に楽しんでいいものだったと思った。あまり難しくなくてわかりやすかった。
落語を身近に感じた。今までより身近になったような気がする。
想像よりも面白かった。内奥がすーっと頭に入ってきた。
落語に文化や出身は関係ない。英語落語が面白かった。
英語でも伝わった。何語で語っても伝わる。落語の国際化がおもしろかった。英語落語とても楽しかったです
英語でも落語が広がると思います。中学生に落語が広がったらおもしろいと思います。
外国人のための英語落語、聴覚障害者のための手話落語など、客によりそのような落語の作り方があってより身近に感じた

ルーシブな魅力を伝える場になったと考える。

以上のアンケート結果は、プロジェクト実践演習Ⅱにおいて桂福龍氏と学生・教員とが対話的に企画を練り実施した本講演会が、講演参加者の落語・国際文化に対する意識変容に影響を与えたことを示しており、このことは、「社会に対して開かれた学び」としてプロジェクト実践演習Ⅱが機能していることの証左であると考えられる。

V. おわりに

本講演会とそれに至る諸活動は、どのような教育的な意義があるのだろうか。授業受講者へのアンケート分析を基に、担当教員の視点から見解を述べて結びとする。

本授業は、「自学自動」的な学びの体得を目指しているが、ほとんどの学生にとって「講演会を企画する」ことは初めての経験であり、何をどのような段取りで企画・立案・運営していくのかは「未知の領域」であった。また、本年度から開始した本報告書に関わる文字起こしと編集・校正作業も同様であった。そうした「未知の領域」の学習活動を経て、学生たちは、どのような苦労や達成感を感じ、学びを獲得したのか。

授業アンケートでは、授業の難易度を5点法（とても難しかった・難しかった・想像通り・意外と楽だった・楽だった）で尋ねる項目に加え、「プロ

ジェクト実践演習Ⅱの授業を受けることで、初めて経験したことや出来るようになったこと」を、講演会終了後と本報告書の校正作業後に自由記述方式で回答させた。

その結果、難易度については、回答者20名中17名の学生が「難しかった」を回答しており、「とても難しかった」と回答した1名を加えると、9割の学生にとって難易度の高い活動内容であったことがわかる。また、講演会終了後の自由記述方式のアンケートで、「たった90分の講演をしていただくのに、こんなにたくさんのことをしなければならぬとは思わなかったもので、大変でした。」（学生1）、「高校までは、全て学校側の大人がやってくれていたことを実際に自分たちでやってみると、思った以上に自分の思い通りにならないものだと実感し、大変だなと思いました。」（学生2）といった回答は、学生の想定以上の苦労を窺わせるものである。さらに、「講演会を一つ作るのは本当に大変という認識はあったのですが、実際に参加してみると、思ったよりもうまく進まなかったもので、難しいという印象を持ちました。何をやるにも、一人では絶対に進まないということが良く分かりました。その分、作り終わった時の達成感がすごかったです。」（学生3）、「この人を呼びたい」とか「この人の話を聴いてみたい！」という意見が一致しても、出演依頼をしてみると、予算オーバーだったり、スケジュール的に厳しいと断られてしまい、一筋縄ではいかないこと

を痛感した。」(学生4)、「ただ単にこの人を呼びたいだけではだめで、呼びたい人の日程(スケジュールの問題)、予算などいろいろ考えることが沢山あり、バランスをとることが難しかった。」(学生5)、「すべて学生が主体となって動かすのは難しかったが、全員で協力して完成させるという経験を得た。」(学生6)、「班に分かれて、その中で分担をして、進捗状況の報告や仕事内容についての話し合いを逐一しながら進めていくことで、報告・連絡・相談の必要性を学び、これからも活かせるようになったと考えました。」(学生7)といった回答は、学生が難しさに直面しながらも、多角的な視点に立って物事のバランスをとりながら遂行していくことの重要性や、グループ活動における協調性と協調していくために必要な「報・連・相」の重要性への気づきがあったことを示している。こうしたバランスや協調性への気づきの一方で、主体性に関わる自己の変化を指摘した回答もみられた。たとえば、「この授業では自分の役割があって、他の人に頼らず、自分の力でやらねばならないのは、とても緊張しましたが、しっかりと自分の役割を全うすることが出来ました。」(学生8)や、「今まで、人についていくばかりだったので、自分が中心になって動く大変さを知りました。」といった回答があった。この他、「アポイントメントや依頼のための電話やメールのスキル」(学生9)、「メールでゲストとのやり取りを行い……本番にやってほしいこと、日程、予算などをなるべく明確に提示すること(スキル)」(学生10)、「チラシを印刷会社に発注すること」(学生11)などの具体的なスキルを獲得したことを挙げる回答がみられた。

今年度からは、『人間研究』に掲載される本報告書の校正の一端も、学生が担当した。校正に関わる一連の作業を経験して、学生はどのような力を獲得したと認識したのだろうか。作業を通して具体的に獲得した能力としては、「文書の構成力、読解力、語彙力」「端的にまとめる能力」「第三者にも分かりやすく伝えるための言葉の取捨と文章力」「文章の繋がりや言葉の言い回しを吟味する力」「見落とさないように細かく見ることと、全体的に見る2つの視点」などが挙げられた。また、獲得した能力をどのように活かしていくのかということに関して、「目的に合わせて文章の構成や内容を考えるように

今後生かしていきたい」(学生12)、「他人が書いた文を添削することで、近い未来で卒業論文を書く時にこの能力を活用できるのではないかと思う。」(学生13)といった回答があった。とくに(学生13)の回答にもある「卒業論文」は、大学教育における最大の「アクティブ・ラーニング」⁽³⁾である。文章遂行に関わる能力だけでなく、本授業で他者と関わりながら獲得したスキルを、4年間の学びの集大成である卒業論文執筆に生かすことが望まれる。

自分が本講義を受けることでできるようになったことは3点あります。1点目はグループ活動において自分がリーダーの役割をできるようになったことです。2点目は人に仕事をお願いする障壁が減ったことです。3点目は自分が持っている知識やスキルを生かしたことです。……自分にとって難しかった点は、運営の人数規模が大きく、なかなか全体感を掴むことが出来なかった点と、初対面の人とのグループ活動です。(学生14)

これは、3年生の回答である。この回答からは、上級生として、同じグループのメンバーのパフォーマンスを最大限発揮できるよう、役割分担を支援することを目指して授業に取り組み、「人に仕事をお願いする障壁が減った」といったマネージャー(管理者)としての能力の獲得が窺える。さらに、難しかった点として挙げられている「全体感を掴むこと」は、2～3年生が学年の壁を越えて一つの活動に取り組むなかで、「リーダー」として、「多様性のある授業受講者の集団を講演会開催という同じベクトルに向け、集団全体がどのように進むべきなのかを示す」役割を自覚したがゆえの苦慮であったと考える。

学生の回答に示された「リーダー」としての資質の萌芽は、日本女子大学のタグラインである「Bloom as a leader」が意図する「自己の可能性を開花させて、それぞれのステージでリーダーになる」に繋がるものである。「Bloom as a leader」というタグラインが、創立以来、各界にリーダーを輩出してきた日本女子大学の卒業生の軌跡を表すだけでなく、未来の日本女子大学の姿を表す象徴的な言葉となり続けるために、次年度以降の授業も継続していきたい。

注

- (1) 齋藤慶子・吉崎静夫・唐澤るり子・渡邊巧・田中雅文「唐澤富太郎と博物館－学校教育・社会教育における博物館利用の可能性－」『人間研究』第53号、2017年、pp.67-79、および齋藤慶子・久保田雅人・渡邊巧・田中雅文・吉崎静夫「つくってまなぼ！－久保田雅人氏に聞く造形教育－」『人間研究』第54号、2018年、pp.77-86、齋藤慶子・大谷洋貴・田中雅文「授業実践報告『プロジェクト実践演習Ⅱ』の取り組み」『人間研究』第55号、2019年、pp.91-96、参照。
- (2) 2019年度「プロジェクト実践演習Ⅱ」の講義計画（シラバス）より引用。
- (3) 本稿では、「学生が他者と関わりながら、対象世界を深く学び、これまでの知識や経験を結びつけると同時にこれからの人生につなげていけるような学習」を意味し、学生の資質・能力を育成しようとするものと捉えている。詳細は、松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター編著『ディープ・アクティブラーニング』勁草書房、2015年、を参照されたい。

